

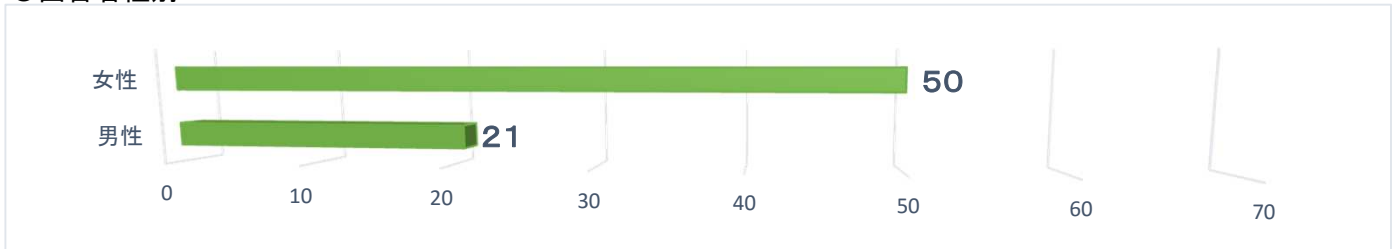
平成29年度「第1回 在宅医療・介護連携 多職種連携研修会」アンケート集計

開催日：平成29年6月15日(木)

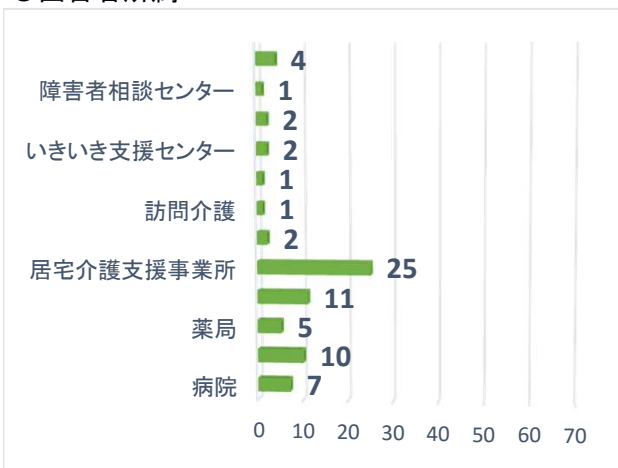
◎参加者：100名（うち、アンケート回答者71名 [回収率：71%]）

[参加者内訳] 病院・診療所（医師11名、研修医1名、看護師9名、保健師1名、放射線技師1名、MSW1名）  
 調剤薬局等（薬剤師6名）、訪問看護（看護師13名、作業療法士1名）  
 居宅介護支援（介護支援専門員35名）、障害者相談センター（1名）  
 通所事業所（1名）、訪問介護事業所（1名）、福祉用具（1名）、鍼灸マッサージ（1名）  
 老健・リハビリ病院（管理栄養士1名、理学療法士2名）  
 行政等（瑞穂区役所5名、瑞穂保健所1名、瑞穂福祉会館1名、いきいき支援センター6名）

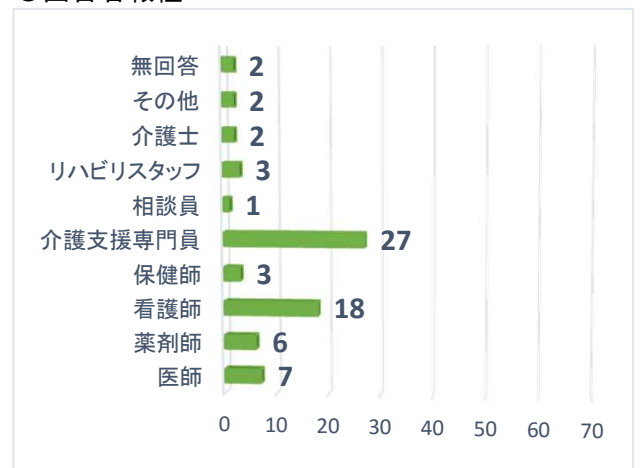
●回答者性別



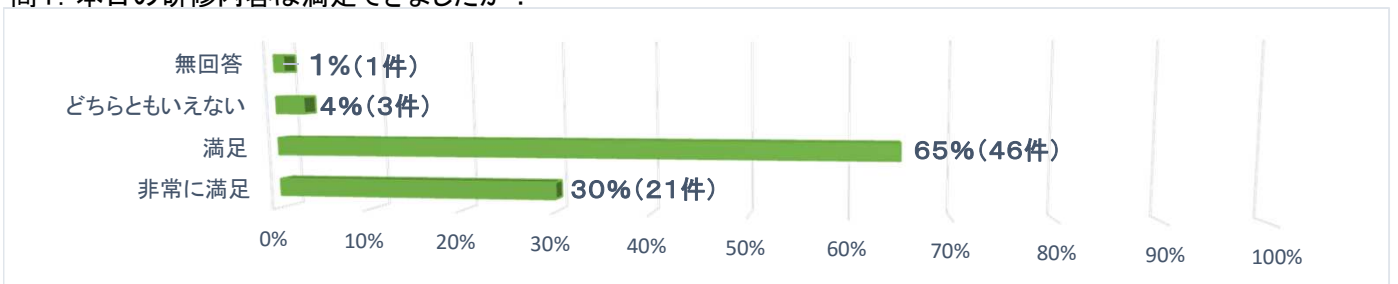
●回答者所属



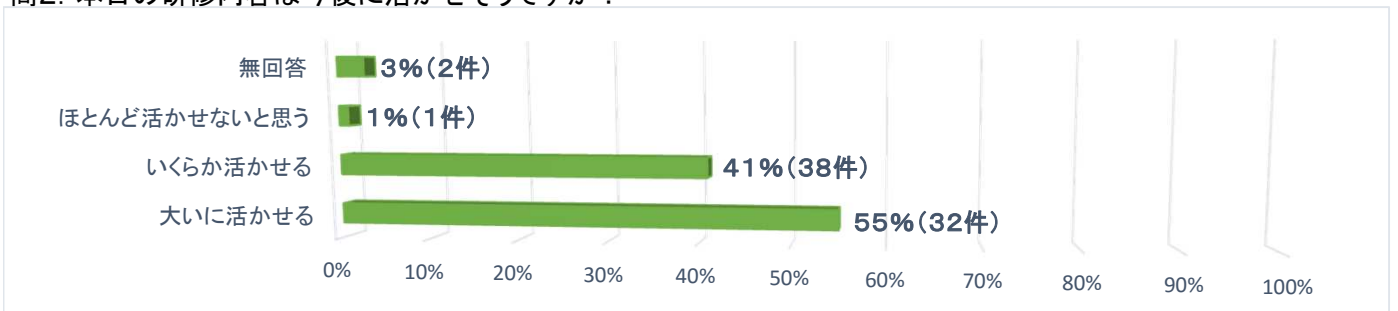
●回答者職種



問1. 本日の研修内容は満足できましたか？



問2. 本日の研修内容は今後に活かせそうですか？



<ご意見・ご感想>

問1. 本日の研修内容は満足できましたか？

[ 非常に満足・満足 ]

- (看護師)・様々な職種を交えたグループワークで、其々の意見を交わせることだけでも十分な意義があると感じた。  
・在宅側からまとめられた症例であったが、段階に応じて関与した人達の思いや意見もくみ取るとよい。  
・多職種での症例検討は大変有意義であったが、多くの人が発言することに慣れておらず本題に時間が持たずに経過してしまった。時間的に、1例の症例でも十分であったのでは感じた。  
・日々其々の立場で頑張っている姿、他の職種の考え意見、気持ちや目指していることが聴けてよかった。  
(薬剤師)・気持ちが揺らぐ、在宅看取りの難しさがわかった。  
(ケアマネ)・身近な事例で、各職種の立場からの多様な意見を聞き視点を知ることができ、気持ちを共有できた。

[ どちらともいえない ]

- (病院看護師)・自分がイメージしていた内容と少し違う研修であった。  
・事例の情報が少ない部分があり、推測でしか考えられなかった。

問2. 本日の研修内容は今後に活かそうですか？

[ 大いに活かせる ]

- (病院医師)・在宅医の先生の思いが聞けた。  
(診療所医師)・連携が大事であると痛感した。  
(診療所)・患者さん・家族への説明と他サービススタッフ間との情報共有の大切さを考える機会になった。  
(大学病院保健師)・グループワークのメリットは大きい。  
(薬剤師)・本人・家族の事になかなか介入していけないが、自分の立場としてできることを連携していきたい。  
(訪問看護師)・症例に関しての見方とアプローチ方法。  
・在宅看取りに対するデータ等をみて、在宅看取りの難しさも感じた。  
・日頃考える症例であり、事業所で情報伝達したい。  
(作業療法士)・連携をとる際にどうすればよいか、参考になった。  
(診療所看護師)・支援や費用などの知識が不足していたと痛感した。  
(ケアマネ)・医師や看護師、その他の職種の意見が聞けて、考えが広がった。  
・経済的な面についてウエットな話に引きづられる必要はないという違った視点が参考になった。  
・より深い関係づくりに努めたい。  
(通所リハビリスタッフ)・自分の視点だけでなく様々な視点で対応していきたい。  
(いきいき)・一方向のみの支援に偏らないよう意識を持つことを改めて考えることができた。

[ いくらか活かせる ]

- (薬剤師)・治療方針を含め、変化したときの対処の仕方について情報共有することが大切。  
・心がまえ、それぞれの連携が大事と感じた。  
(病院看護師)・1つの症例を時系列に掘り下げた研修であれば、よりいろんな意見が出たのではと感じる。  
・地域担当者とケースを振り返る場がなかなかなく、よかった。  
・診療情報提供書や看護情報提供書をもっと確り書いて伝えなければと思うが紙面に限りもあり、どう詳細を伝えるか検討しなければと思った。カンファレンス機会や、はち丸も、情報共有のためには有効だと思うが…時間や入力や大変なのだと感じる。  
(訪問看護師)・在宅看取りができる要件を見極める際の材料に活かせる。  
(ケアマネ)・終末期に関わることが少ない現状だが、心がまえが必要と感じた。  
・実際に終末期の支援にあたっているため、参考になった。  
(福祉会館保健師)・研修への参加により、日頃つながりのない方と繋がりをつくることができた。  
(福祉用具)・他の職種の意見を聴く機会ができ、今回得たことをうまく活かせればと思う。

[ ほとんど活かせないと思う ]

- (薬剤師)・まだ在宅に関わっていないため。

<今後の研修に対するご意見>

- (病院看護師)・症例検討は、やはり回を重ねる必要があるのでは、市大と瑞穂区の在宅チームまたは区内・他区の関係病院も巻き込んで行っていくことが必要と思う。  
・全てが勉強であり、まずは知識の質・量・向上に努める機会が必要だと感じる。  
(ケアマネ)・やはりグループワークなど、お互いに人となりが見えるような時間が今後も必要と思う。